

このたびは、三高中学校のホームページをご高覧いただき、誠にありがとうございます。三高中学校校長の喜多村昭宏です。38年前の初任の学校が三高中学校でした。そして、最後の1年も三高中学校で勤務させていただくこととなりました。



さて、私は入学式で、生徒・保護者の皆様に対して次のような話をしました。

中学生時代は長い人生の中で、心身ともに最も伸びる時期にあたります。この伸びる時期に夢中になれるものを見つけてください。人生とは無限に流れる時の中で、たった1回だけ、一人一人に与えられた時間を過ごしていくことです。その時間をどう使うかが自分の人生を決める。ぜひ夢中になれることを見つけてください。たった一回の人生です。「夢中になれること」があることは素晴らしいことなのです。夢中になれば、「こうなりたい」という夢が出来ます。「なりたい自分」を目指して巻き起こるさまざまな問題や、解決すべき課題を、一つ一つ克服しながら成長していく自分。「足りない自分」に気づく。仲間に助けられ、また仲間を助けるという経験を積み重ねながら。そんな貴重な経験が人生において無駄なわけがありません。部活動でも、勉強でも、趣味でも、習い事でも、夢中になって取り組んだことは、自分の人生を豊かに生き抜く大切な宝ものとなります。その先に、夢の実現が見えてきます。ただし、失敗を恐れないでください。若いという事は未熟ということではありません。君たちには未来にたくさんの時間があるのです。若いという事は「やり直しが何度でもできる」ということ。失敗したらやり直せばいい。何度でも挑戦していいし、途中で進路を変更してもいい。失敗の無い人生なんてないのです。「起き上がる」という経験は、転んだ人にしかできません。転んだら力強く起き上がる。そんな前向きな生き方ができる人になってほしいと願っています。

こうした体験の繰り返しは、将来、「自律」した人になるために、最も大切なことだと思えます。

生徒たちの「なりたい自分」を現実のものにさせるために、全教職員が、力を合わせ全力で取り組みます。保護者の皆様や地域の方々、私たち教職員の願いは同じです。心を一つにして、子ども達の健全な成長のために、学校の取組に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

江田島市立三高中学校長 喜多村 昭宏